

謡森鈴音 *Suzune
Utamori*



痴女たちの全裸淫戯

露出体験告白2

映画館で、にぎわうビーチで、雨の住宅街で、
人通りの多い路上で、芋洗い状態のプールで、
すべて脱ぎ去って全裸になる禁断の快樂……

ところかまわず全裸をさらす、
露出痴女10人の絶頂体験談！

体験版

もくじ

映画館の最前列で全裸になって性器を指で広げたまま上映終了まで露出

して…… (絵麻・27歳・美容師)

無防備でガードがゆるいふりをして弟の友だちにわざと裸や性器を見せつけ…… (花純・20歳・居酒屋店員)

一階のベランダで全裸オナニーをして、柵越しに人と話しながらもいじつて…… (愛乃・34歳・主婦)

ホテルで大きな窓のまえに全裸で立って外へ見せつけるようにオナニーして…… (小夜・30歳・バイヤー)

ボディーパーイントで水着の絵を描いただけの全裸で混み合うビーチを訪れて…… (ねねこ・24歳・イラストレーター)

性器むき出して浮き輪にお尻を入れて流れるプールをまわり、全裸になつて……（美結・23歳・会社員）

露出目的で偽ギャルやつてたJK時代、エスカレーターしてみんなにあそこを……（佳奈・26歳・美容師）

無人駅で全裸になってオナニー中、ダイヤにない電車が停まって大勢の人が……（千尋・29歳・地方公務員）

コインランドリーで着てきたものをすべて洗って全裸で待つうちに人がきて……（さくら・31歳・ライター）

仲間でナチュリストのふりをして全裸で過ごすうち、話が広まってしまい……（絢紗・19歳・大学生）

映画館の最前列で全裸になって性器を指で広げたまま上映終了まで露出して……

(絵^え麻^ま・27歳・美容師)

もうずいぶんまえのことなんですけど、むかし映画館で気づいたら寝ちゃって、上映が終わってからスタッフの人に起こされたことがあったんです。

そのときはひとりで、当時はタイトなミニスカートを穿くことが多かったんですけど、寝てるうちに脚をだらしなく開いてみたいで、座ってたこともあってスカートが持ち上がって、パンツが丸出しになっちゃってて。

起こしてくれたのが男性スタッフで、もう完全にすっかり見られてて、それもレーズのちよつと派手なパンツだったので、あわてて隠そうと思ったんですけど、あのときなんでそう思ったのか、それもそれで見つともないというか、恥ずかしいなと思って、逆に堂々とそのままにしておいたんです。

寝てしまったことを謝って、起こしてくれたことにお礼を言って、そこで立ち上がっ

て、やっとスカートを直して、パンツを隠しました。

もう劇場にはほかのお客さんの姿はなかったんですけど、寝起きの頭でぼんやり思い返してみると、入ったときはほとんど満席だったんですよ。

たしか左右どっちかの隣にはおじさんが座ってた記憶もあって、じゃあその人にもぼっちりパンツを見られてたんだと気がついて。それどころか、そのとき劇場中央あたりの、横に伸びた通路に面したいちばんまえの席に座ってたので、帰りに通路を通った人全員から見られ放題だったことにも思い至って、急激に恥ずかしくなりました。

トイレに入って、さっきと同じ姿勢でパンツを丸出しにしてみても、

(こんなふうになつてるところ、何十人にも見られてたんだ……)

と想像してたら、じわっとパンツにしみが浮いて、思わずそのままじりはじめていました。

そのときはじめて、露出願望が芽生えたんだと思います。

もともと学生時代はギャルっぽい感じで、社会に出てからも普段着はけっこう派手な感じだったので、べつに露出したいとかつていうのとは関係なしに、ミニスカートとかショートパンツとか穿いたり、肩とかおへそが出るカッコしたり、そういうのが

ファッションとしてぜんぜんふつうの感覚だったんです。

そんなだったので下着が多少見えたってたいして気にもしてなかったんですけど、あそこまで丸出し状態で、それも自分の知らないうちに大勢から見られてたってなると、話がまったく違いますよ。

それで、いままでさんさん肌見せしてきたけど、わたしが意識してなかっただけで、きつといっぱい性的な目で見られてたんだろなって急に気づいたら、恥ずかしいのもあったんですけど、すごく興奮したんです。

でもそのせいで、これまでどおりに露出の多い服装をすることに抵抗が出てきちゃったんですよ。きょうはミニスカにしようと思って、部屋でいったん着てはみるんですけど、鏡にうつった自分を見て、

（これだけ生脚出してたら、きつとおじさんとかにじろじろ見られるんだろな……）
なんて考えてると、もうたまらなくなってきたって、ダメなんです。実際に穿いて外に出て、ほんとにおじさんがこつちを見てたりしたら、ぜったい興奮してヤバイなって思って、そしたら外に穿いていけなくなっちゃって……。

そんな感じで、映画館でのことがあってからは、肌を出すファッションはしなくなっ

ちゃいました。

その代わりっていうわけじゃないんですけど、それからまた映画館に行くたびに、こっそり露出をするようになりました。

といっても、あやういスカートなんて穿かないようになってたので、最初みたいに寝たふりしてパンツを丸出しにして、みたいなことはできません。

でも、そうでもないかと自然なふうを装って誰かにパンツを見せることなんてできないじゃないですか。

だったら誰かに見られなくてもいい、むしろ逆に人には見られないように、こっそりバレないように露出してドキドキ感で気持ちよくなれば……っていう方向に考えを切り替えたんです。

それで、映画の上映中、こっそりスカートを持ち上げてパンツ丸出しにしてみたり、同じ列に誰もいない席とかだとパンツごとジーンズ下ろして下半身をむき出しにしてみたり、ひそかな露出をちよくちよく楽しんでいました。

露出するのは最初からそのつもりでサービステイに適当な映画を選んだときとか、ちゃんと観る気で行ったけどつまらなくても面白いやってなっちゃったときです。ほ

んとに観たい映画とか、なんとなく観てみたらおもしろくて目が離せなくなっちゃった映画とか、そういう場合には露出ししないで、ふつうに真剣に観ています。

そんな感じでたまに露出して、さわがしいシーンのときはその場で少しいじったりもして、上映後にトイレでオナニーして帰る、っていうのを、ときどきやっていましたけど……。

あるとき、どうしても初日に観たい映画があつて、でも仕事がある日だったので、終わってからレイトショーで観にいったんです。そうしたらほとんど満席で、ぼつぼつ人と人のあいだの席が空いてる程度で。迷った末に、見づらいたらうとは思いつつ、少しでも圧迫感のなさそうな場所がよかったので、はじめて最前列をとりました。最前列は前方になにもないので、左右に人がいる状態でも、わりとゆったりできました。映画を楽しんで、終わってから余韻でしばらくぼうっとして、そのうちにお客さんがだいぶ減ってきて、そろそろ帰らなくっちゃって立ち上がろうとして、ふと思つたんです。

こんなふう空いてる状態で、同じ列に誰もいない最前列だったら、いつも以上に大胆な露出ができるんじゃないか、って。

たとえばぜんぶ脱いで全裸になったとしても、出入り口は劇場のまんなかあたりにあるので、トイレに行く人がいてもこっちは来ないし、誰にも気づかれないで上映中ずっと裸で過ごすことなんかもできるかもしれない……。

そう思いついた次の週には、さっそく行動に移していました。

映画館に着くと、なるべく人が少ない映画がよかったので、まずは端末で各シアターの席の埋まり具合をたしかめました。

そうしたら、そこそこ広めのシアターで席が一割くらいしか埋まっていない映画があったので、それに決めました。ほかのお客さんはまんなかから後方にかけて散っている感じで、前方の席はどこも空いていたので、これならいける、と思いましたね。

シアターへ入るまえにトイレに寄って、いったんそこで全裸になりました。そのうえでロングコートだけを着直して、いよいよ劇場に入りました。

最前列中央の席に座って、うしろを振り返ると、ちらほらとお客さんの姿が確認できました。この人たちのなかで、いまからこっそり全裸になるんだと思うと、もうぞくぞくしてたまりませんでした。

そわそわしながら予告編が終わるのを待って、いよいよ本編の始まりです。

全体的にさわがしそうな映画をチョイスしたんですけど、期待してたとおり始まってすぐに音響が派手なシーンになったので、すかさず座席に身体を沈み込ませて、うしろからは後頭部くらいしか見えないような体勢になると、なるべく小さな動きでコートを脱いでいきました。

ボタンを開けてまえを全開にしただけで、ものすごい開放感でした。

身体を座席に沈めているせいで脚が自然と大きめに開いていたので、暖房のきいた劇場のあたたかい空気をじかにまんこで感じちゃって、身体がふるふる震えました。

両袖から腕を抜いて、ちょっとだけお尻を浮かせながら完全にコートを脱いでしまふと、それを隣の席に置いて、ブーツまで脱いじゃいました。

映画館の座席で生まれたままの全裸になって、もうそれだけでまんこは早くも大洪水でした。

つうつと熱いものがお尻のほうに流れていって、数えきれないくらいたくさん人が座ってきた、そしてこれからも座るだろうシートに、それが染み込んでいきました。早くオナニーしたいばかりだったんですけど、タイミング悪く静かなシーンに変わっちゃったので、まだおあずけです。

と違って、ただ裸で座ってるだけでもおもしろくないので、なにか過激なことをしたいな、って思いました。

そこでふと思いついて、座席の上に両足を上げて、M字に広げました。それだけでもけっこうくるカッコだったんですけど、そのまま両脚をさらに広げて、左右の肘置きに膝の裏を引っ掛けたんです。

ちようど婦人科の診察台みたいな感じで、あからさまにまんこを強調するようなポーズになって、めちゃくちゃに興奮しました。

いま誰かが来たらずくに体勢を変えられないし、ぜったいにばっちりまんこ見られちゃうなって思って、だからマン汁を垂らしてました。

そのままオナニーしたい気持ちはありましたが、そうやってまんこ丸出しでずっと露出しつづけて、さわらないままで極限まで興奮を高めておいて、最後に思いっきり一回だけイク、みたいにしたほうが、より快感が大きいんじゃないかって、そんなことを思いついちゃって。

それで、だったらもっと大胆になったカッコでセルフ放置プレイしたほうがイクときもすごいはずだって思って、指でまんこを広げたんです。

もう、すごかったです。

ただでさえ大股開きでまんこさらしてたわけですけど、さらにめいっぱい広げて中までぜんぶ丸見えにしちゃってるわけ。

信じられないくらいの開放感で、勝手にまんこがひくひくして、濡れまくってたので音もれちゃわなかったって心配になるほどでした。

それと、まんこの中まではさすがに見えないんですけど、座席に深く沈み込んで自分の身体がよく見える体勢だったので、スクリーンに向かって自分でまんこ広げる姿がつねに視界いっぱい広がってる感じで、その強烈なビジュアルにもめっちゃ興奮させられましたね。

しかも、シーンにもよるんですけど、明るい場面だと変な話、上映前の薄暗い照明がついてる状態なんかより、劇場内がぜんぜん明るくなるんですよ。

スクリーンのまんままで全裸で大股開いた姿を明るく照らされると、もう気が遠くなるくらい気持ちよくなって。

肌なんかいつもより白く見えていやらしいし、乳首の色もはっきりわかっちゃうし、中が見えないのは惜しかったですけど、まんこを開いてる指がマン汁で濡れて光って

るのはぼっちりわかるし、自分で自分の身体にうつとり見とれてしまいました。

まんこの中があまりに熱かったせいか、あったかい劇場の空気に粘膜をさらしてても、逆に少しひんやりするくらいで、それがまた気持ちよくて、ずっとまんこがじんじんして、そのうちだんだんがまんできなくなってきました。

でも、そつとクリトリスにさわってみたら、それだけで身体がビクンと跳ねちゃつて、あわてて指を離しました。

興奮のあまり敏感になりすぎてて、とてもじゃないけどじつと動かないままオナニーをするなんていうのは無理そうでした。

だけどさわりたいくてさわりたいくて、こっちなら平気かなくて、ゆっくり中指を膣の中へと沈めてみました。

そつちもやっぱりいつもとはくらべものにならないくらい気持ちよくて、気をつけないと身体が反応しちやいそうでしたけど、それでもクリトリスよりはまだ大丈夫そうでした。

指を根元まで膣内に入れると、きゅうきゅう熱い粘膜が締めつけてきて、細い指一本をただ入れてるだけでもずつと気持ちいいんです。ふだんなら二本は入れないと物

足りないんですけど、そのくらい中が狭くなってたんでしょうね。あの状態でおもちゃとかちんちんとか入れたら、めっちゃめちゃにイキ狂うくらい気持ちよかっただろうなと思います。

入れているだけで気持ちいいとはいっても、どうしたってそうしていると動かしたくなってくるもので、わたしはゆっくりと指を引き抜いていきました。

狭まった膣内を指が抜けていく感覚がたまらなくて、あやうく腰が浮きそうになりました。それでもなんとかこらえつつ、ぎりぎりまで抜いたところでまた根元まで、そっと指を沈めていって……。

慎重な動きだったので音はもれずに済んだんですけど、そんなふう ゆっくり出し入れしていると、なんだか逆に焦らされてるみたいでよけいにムラムラしてきちゃって、自然ととだんだん抜き差しする間隔が短くなっていきました。

もう少し速くすればイケそう、というところまで高まってきたときでした。

突然、さわがしかったシーンから静かなシーンに切り替わって、劇場内が一瞬で静まり返ったんです。

ちゅくっ、っていう音が小さく響いて、わたしはあわてて指を止めました。

気づくと息もだいぶ荒くなっていたので、ほかの人に聞こえちゃわないように、苦しいのをこらえながら息も詰めて、まんこに指を根元まで沈めたまま、しばらく動けませんでした。

もうちょつとでイケそうなどこまで仕上がってる膣内が、もう絶え間なく指を締めつけてきてて、その刺激だけでもこのまま続けばイッちゃうんじゃないかと思いましたが。

いまイッたら間違いなく身体が大きく反応しちゃうし、ぜったい声だつて抑えられないって思つて、なんとか波が引いてくれるように願ひながら、一心にスクリーンの字幕を読んで必死に快感から気をそらそうとしました。

そんなとき、うしろのほうからかすかな足音が聞こえてきました。

(うそつ、人が来ちゃうつ……!)

パニックになりかけながら、でもどうすることもできず、お願いだからこっちには来ないでくださいって、それだけを祈りながら身を固くしていました。

足音がだんだん近づいてきて、胸のドキドキが大きくなって、鼓動と連動するよう膣内も、きゅつ、きゅつ、きゅつ、って指をきつく締めつけて、感じちゃダメなの

にどんどんイキそうな感覚が高まっていくんです。

静かな劇場に響く小さな足音と大きな心臓の音を聞きながら、もう無理かもしれない、
いっていうあきらめがわきあがってきて、

(バレちゃうんなら、終わっちゃうんなら、どうせなら思いっきりイッて気持ちよく
終わりたい……)

つづきは製品版で
お楽しみください

■サークル「破滅乱淫オーガズム」作品一覧

*2024年8月現在

◎既刊

- ① 委員長・静井莉子の露出自慰日記（優等生のカゲキないキぬき）
- ② ロリのふりして脱法露出！ 合法ロリでも外で脱いだら違法です!!
- ③ 露出体験告白1 イキすぎた公開絶頂
- ④ 着衣女性×露出男性勃起見せつけ体験集1
- ⑤ 時間停止能力を手に入れて露出オナニーを満喫してたら人生終了しちゃった話
- ⑥ 露出体験告白2 痴女たちの全裸淫戯（全裸になりたいわたしたち露出体験告白2）改題）
- ⑦ 身動きできない満員電車でロリたちに勃起を勝手に出されて射精させられた話
- ⑧ イメージビデオに出演したら挿入がないだけでほぼAVみたいな撮影だった話
- ⑨ 着衣女性×射精男性勃起見せつけ体験集2

◎近刊

＊男は誰もがチンポの虜 兜合わせ体験集

＊怪淫譚 心霊絶頂体験集

＊露出体験告白3 公然のイキ恥さらし

＊娘がアダルトライブチャットをしていたのでエロirikエストをしまくった話

(近刊の発売順は変更になる場合があります)

★各電子書籍ストア、ダウンロード販売サイトにて発売中!

(ストア、サイトによっては規約の関係上、一部扱いない作品があります)